

2年学年だよ

令和5年5月19日(金)

No. 9

吹田市立千里丘中学校

第2学年

中間テスト 終了

昨日・今日の二日間の日程で、1学期の中間テストが実施されました。
1年生の学年末テスト以来の久しぶりのテストでしたが
準備を含めて、納得のいく取り組みはできましたか。

目標点を定め、それに向かって勉強に取り組み、試験を受ける。
テストが返却され、得点に一喜一憂する。

で、ここからが大切です。
これまでの自分の学習内容や方法を振り返る。
次に向けて、継続すべきこと、改めるべきこと(生活面・学習面ともに)にしっかりと目を向ける。
そして、行動する。

来週早々には、答案が返却されます。
疑わしい行動はつつしみ、気持ちよく、自身の学習を振り返り、次につなげていきましょう。

『ソーセージの悲しい最後』

さて、話はかわりますが
1年生の道徳で取り上げた北海道のヒグマのエピソード。覚えていますか？
「人間が軽い気持ちから起こした行動が、1匹のヒグマの運命を大きく変えてしまった」
という内容でした。

地球上には人間以外にも多くの生物が存在し、
それらの様々な生物は、互いに関係しあいながら暮らしているという
「生物多様性」についても考え、学びました。

GW前『ソーセージの悲しい最後』を思い出す記事を見つけ、
君たちに紹介したいなあと思っていました。ぜひ読んでみてください。

「子鹿には 絶対に触らないで」

奈良公園の悲劇 母鹿から育児放棄された5カ月の命

2023年4月28日

2023年1月14日、奈良公園の子鹿が虹の橋を渡りました。名前はこつぶ、生後5カ月でした。
人が触ったために母鹿が育てることを放棄。母乳をもらえなくなり、小さくやせたままでした。
生きるために 他の雌鹿から母乳をもらい、寝床も自分で整え命をつないでいました。

こつぶちゃんを見守った方は、こつぶちゃんの様子や「奈良公園の鹿は動物園のふれあい広場ではありません。子鹿には絶対に触らないで」というメッセージをTwitterで传えています。

「こつぶちゃんは一人ぼっちでした」

「こつぶちゃんは一人ぼっちでした。お母さんに甘えることも、おっぱいももらうことができず、そして1月の寒さの中、天に召されたことを多くの人に知ってほしいと思います。
観光客がこつぶちゃんに触ってしまったことが遠因ではないかとも言われています。こんな悲しいできごとが二度と起こらないようにしたいと心から願っています。
子鹿が人に触られることで、母鹿が育児放棄をするということはこれまでもたびたびありました。
鹿が増えるシーズンには注意喚起をしていますが、子鹿に触ってはいけないということ知らない人は多く、外国人観光客は全然知りません。」

SNSに自分の身の回りの出来事アップすることを楽しむ人が増える中で、子鹿を抱き上げて
写真撮影をする人も増え続けています。

こつぶちゃんの悲劇を繰り返さぬために 奈良公園で生きる鹿たちが健やかに過ごせるための「5つの約束」

- (1) ゴミのポイ捨てをしない…食べ物のおいが付いているため鹿が食べてしまいます。
- (2) 子鹿に触らない
- (3) 人間の食べ物を与えない(パン、お菓子など)
- (4) 鹿に野菜を与えない…野菜の味を覚えた鹿は近隣の野菜畑を荒らしてしまいます。何度も畑を荒らす鹿は鹿苑に収容され、一生そこで過ごすことになります。
- (5) 大型犬を連れてこない…犬の祖先はオオカミであるため、鹿は犬が大嫌いです。
近年、奈良公園をドッグランのように走らせたり、ノーリードで離す人が増えて、鹿は大変な迷惑は被っています。

1300年もの間、人間と共生

神様の使いとして1300年近くも奈良の人々から崇められ、人と共生を続けている奈良公園の鹿。
「このような動物と人間の共生のケースは世界でもまれです。
奈良市における観光消費額は年間約1200億円(USJの年間売り上げとほぼ同額)で、
その多くが鹿由来です。
歴史的にも経済的にも大きな存在である鹿たちを守るため、
多くの方に奈良公園の鹿をもっと知ってほしいと思っています。」

来週的时间割

22日(月)、23日(火)、26日(金)の3日間が特別時間割

26日(金)の5・6時間目は救急救命講習(AED)